

JMC 米欧亜 IT トレンドウォッチ

2008 年 5 月 25 日

欧州編：

ワイヤレス向け半導体で成長見せる欧州メーカー

携帯電話端末市場の快調な成長という追い風を受け、ワイヤレス関連機器向け半導体メーカーも堅調な成長を見せている。2007 年は、STMicroelectronics (ST)、Infineon Technologies など欧州メーカーが 2 桁成長を見せた。2007 年の世界の携帯電話端末出荷台数は、前年比 16.1% 増の 11 億 5,000 万台で、これに連動して同年のワイヤレス向け半導体の世界売上高は 295 億ドル、前年 (274 億ドル) から 7.6% 増となった。メーカー別シェア・トップ 5 は、①Qualcomm (19.1%)、②Texas Instruments (TI, 16.7%)、③ST (5.1%)、④Infineon (3.3%)、⑤NXP (5.6%)。トップ 2 社の米系メーカーのシェアは依然として大きいものの、3-5 位にランクインした欧州メーカーがシェア拡大に向けて奮闘中。スイスの ST は、これまで米 TI と単独の戦略的パートナーシップを結んできた Ericsson Mobile Platforms (EMP: 携帯電話メーカーや受託製造業者にプラットフォームを提供) が、3G ベースバンド¹・プラットフォームに関して複数のパートナーシップへと戦略転換をしたことにより、売上げを 14.4% アップさせ、2006 年 5 位から 3 位に浮上した。一方の TI は、EMP の戦略転換の影響により、ワイヤレス関連機器向け半導体の売上高が 7.7% 減となった。ST は、5 位の NXP (オランダ、前年比売上高 7.6% 減) とワイヤレス関連事業を統合し、ともに市場を制覇する狙い (4 月 10 日付 ST リリース)。また、ドイツの Infineon は買収統合を重ね、2006 年 8 位から 2007 年 4 位へと急浮上している。同社は、4 月 28 日 Samsung と携帯電話用プラットフォームに関する提携を結んでいる (4 月 28 日付 Infineon)。

¹ ベースバンドは、情報通信における、変調前または復調後の情報信号 (音声、映像、デジタル・データなど) の帯域 (出典: エレクトロニクス・セミナー <http://www.cqpub.co.jp/term/baseband.htm>)。